

# 農 研 速 報

令和3年 11 月1日発行

茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(10月29日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月 27 日	「あきたこまち」 105	<p>4月第6半旬～8月第1半旬は、平均気温は平年差+0.1℃、日照時間は平年比 102%で推移した。特に、6月第5半旬から7月第3半旬にかけては、平均気温は平年差-1.3℃、日照時間は平年比 56%で推移した。一方で、7月第4半旬から8月第1半旬にかけては、平均気温は平年差+0.8℃、日照時間は平年比 158%で推移した。このため、幼穂形成期は「あきたこまち」及び「ふくまる SL」では少照、「コシヒカリ」では低温・少照で推移した。このため、出穂期は「あきたこまち」で平年より2日遅く、「ふくまる SL」で1日遅く、「コシヒカリ」で2日早かった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後 20 日間の平均気温及び積算日照時間は、「あきたこまち」では 26.3℃(平年差:+1.0℃)、188 時間(平年比:178%)、「ふくまる SL」では 26.8℃(同+1.0℃)、208 時間(同 173%)、「コシヒカリ」では 26.9℃(同+1.6℃)、173 時間(同 135%)だった。出穂後 21 日から成熟期にかけては、「あきたこまち」では 25.8℃(平年差:-0.9℃)、127 時間(平年比:89%)、「ふくまる SL」では 25.7℃(同-0.9℃)、102 時間(同 77%)、「コシヒカリ」では 24.9℃(同-1.1℃)、105 時間(同 80%)だった。成熟期は「あきたこまち」では平年より6日遅く、「ふくまる SL」では4日遅く、「コシヒカリ」では3日遅かった。</p> <p>【あきたこまち】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が長く、穂長がやや長く、穂数がやや多く、倒伏程度が大きかった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数がやや多く、一穂粒数が極多く、千粒重がやや軽く、登熟歩合が低く、精玄米重はやや多かった(平年比 105%)。 玄米外観品質は、平年と比較して心白粒・背白粒が少なかったが、基白粒が多く、整粒歩合は平年差+6.5%だった。</p>
		「ふくまる SL」 99	<p>【ふくまる SL】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が長く、穂長が平年並、穂数がやや多く、倒伏程度が大きかった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数がやや多く、一穂粒数及び千粒重が平年並、登熟歩合がやや低く、精玄米重は平年並だった(平年比 99%)。 玄米外観品質は、平年と比較して心白粒が少なく、整粒歩合は平年差+18.8%だった。</p>
		「コシヒカリ」 109	<p>【コシヒカリ】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長、穂長及び穂数が平年並だった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が平年並、一穂粒数が多く、千粒重及び登熟歩合が平年並、精玄米重はやや多かった(平年比 109%)。 玄米外観品質は、平年と比較して乳白粒・基白粒が多かったが、心白粒が少なく、整粒歩合は平年差+1.6%だった。</p>

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
	5月7日	「コシヒカリ」 99	<p>5月第2半旬～8月第1半旬は、平均気温は平年差+0.1℃、日照時間は平年比 102%で推移した。特に、6月第5半旬から7月第3半旬にかけては、平均気温は平年差-1.3℃、日照時間は平年比 56%で推移した。一方で、7月第4半旬から8月第1半旬にかけては、平均気温は平年差+0.8℃、日照時間は平年比 158%で推移した。出穂期は平年より2日早い7月26日だった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後 20 日間の平均気温及び積算日照時間は、26.0℃(平年差:-0.6℃)、130 時間(平年比:97%)だった。出穂後21 日から成熟期にかけては、24.3℃(平年差:-1.5℃)、119 時間(平年比:91%)だった。成熟期は平年より2日遅かった。</p> <p>【コシヒカリ】</p> <p>成熟期の生育は、稈長が平年並、穂長がやや短く、穂数が極多く、倒伏程度はやや大きかった。</p> <p>収量構成要素は、穂数が極多く、一穂粒数が平年並、千粒重がやや軽く、登熟歩合が平年並、精玄米重は平年並だった(平年比 99%)。</p> <p>玄米外観品質は、平年と比較して乳白粒・基白粒が多かったが、心白粒が少なく、整粒歩合は平年差-1.3%だった。</p>

# 水 稲 の 生 育 状 況

表1 移植時期・品種別の生育・収量（龍ヶ崎市）

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0～5)	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	7/13	+1 (7/12)	+2 (7/11)	8/24	+5 (8/19)	+6 (8/18)	87	101 (86)	109 (80)	18.0	107 (16.8)	103 (17.5)	551	110 (503)	106 (522)	4.0	+2.6 (1.4)	+2.7 (1.3)
	ふくまるSL	7/16	±0 (7/16)	+1 (7/15)	8/26	+4 (8/22)	+4 (8/22)	86	104 (83)	106 (81)	18.8	102 (18.5)	99 (18.9)	541	117 (461)	108 (503)	4.0	+1.4 (2.6)	+2.2 (1.8)
	コシヒカリ	7/22	-5 (7/27)	-2 (7/24)	9/3	+4 (8/30)	+3 (8/31)	94	101 (93)	102 (92)	19.4	101 (19.3)	102 (19.0)	463	114 (407)	103 (451)	4.5	+1.5 (3.0)	+1.7 (2.8)
5/7	コシヒカリ	7/26	-8 (8/3)	-2 (7/28)	9/8	±0 (9/8)	+2 (9/6)	99	100 (99)	103 (96)	18.7	95 (19.6)	97 (19.3)	515	128 (401)	120 (430)	4.0	-0.1 (4.1)	+0.9 (3.1)

移植 時期 (月日)	品 種	精玄米重			一穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年差 (%)	平年差 (%)
4/27	あきたこまち	66.0	122 (54.3)	105 (62.7)	76.1	124 (61.4)	118 (64.6)	419	136 (309)	124 (337)	19.9	98 (20.4)	95 (21.0)	80.3	-4.8 (85.1)	-6.9 (87.2)
	ふくまるSL	68.3	108 (63.0)	99 (69.3)	66.8	104 (64.1)	101 (66.0)	361	122 (295)	109 (331)	23.0	99 (23.2)	98 (23.5)	83.8	-7.0 (90.8)	-4.3 (88.1)
	コシヒカリ	63.2	117 (54.2)	109 (57.8)	83.4	106 (78.4)	110 (75.8)	386	121 (319)	113 (341)	20.8	103 (20.2)	99 (21.0)	81.2	-2.3 (83.5)	+1.3 (79.9)
5/7	コシヒカリ	56.4	100 (56.3)	99 (56.7)	72.0	91 (79.4)	96 (74.8)	364	114 (318)	113 (321)	20.0	98 (20.4)	95 (21.1)	79.4	-5.7 (85.1)	-2.2 (81.6)

注1) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価、カッコ内の数値は前年または平年の実測値

平年値：平成28年～令和2年の5年間の平均値

ただし、ふくまるSLの平年値は、平成28年～令和2年のふくまるのデータを使用した。

表2 移植時期・品種別の玄米外観品質（龍ヶ崎市）

移植時期 (月日)	品 種	整粒歩合 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			背白粒 (%)			基白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	77.8	-15.7	+6.5	1.6	-0.4	-0.4	1.3	+0.6	-1.9	1.9	+0.4	-15.0	7.2	+5.1	-3.7	7.2	+7.0	+5.7
			(93.5)	(71.3)		(2.0)	(2.0)		(0.7)	(3.2)		(1.5)	(16.9)		(2.1)	(10.9)		(0.2)	(1.5)
	ふくまるSL	92.4	+0.2	+18.8	2.3	-1.2	-1.2	1.7	+1.5	-1.2	0.9	-0.6	-7.5	0.6	+0.1	-0.1	0.2	+0.1	-0.4
			(92.2)	(73.6)		(3.5)	(3.5)		(0.2)	(2.9)		(1.5)	(8.4)		(0.5)	(0.7)		(0.1)	(0.6)
	コシヒカリ	72.7	-13.5	+1.6	1.4	-0.6	-0.9	14.5	+13.2	+9.6	0.7	-5.7	-15.9	4.5	+1.5	+0.2	4.8	+4.0	+3.7
			(86.2)	(71.1)		(2.0)	(2.3)		(1.3)	(4.9)		(6.4)	(16.6)		(3.0)	(4.3)		(0.8)	(1.1)
5/7	コシヒカリ	71.3	-0.5	-1.3	2.0	-3.0	-0.6	12.8	+11.4	+8.2	0.4	-17.1	-13.3	5.7	+3.5	+1.9	7.9	+7.2	+7.0
			(71.8)	(72.6)		(5.0)	(2.6)		(1.4)	(4.6)		(17.5)	(13.7)		(2.2)	(3.8)		(0.7)	(0.9)

移植時期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/27	あきたこまち	0.5	+0.4	-0.2	5.8	+5.5	+5.0
			(0.1)	(0.7)		(0.3)	(0.8)
	ふくまるSL	1.2	+0.8	-8.8	1.1	-0.2	-0.7
			(0.4)	(10.0)		(1.3)	(1.8)
	コシヒカリ	0.8	+0.7	+0.2	2.4	+1.6	+1.1
			(0.1)	(0.6)		(0.8)	(1.3)
5/7	コシヒカリ	0.1	±0	-0.9	2.2	+1.1	+0.7
			(0.1)	(1.0)		(1.1)	(1.5)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 玄米外観品質は目視による調査。その他は、被害粒・着色粒・死米等を合計したもの  
複合的に白未熟粒が発生したため、数値の合計が100を超えている

注3) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価 注4) 平年値：平成28～令和2年の5年間の平均値

#### 【栽培概要】

1. 苗質：稚苗

2. 植え付け本数：5本/株

3. 栽植密度 あきたこまち・ふくまるSL 18.5株/㎡，コシヒカリ 15.2株/㎡

4. 基肥量 あきたこまち N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.7：0.7：0.7(kg/a)

ふくまるSL N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.8：0.8：0.8(kg/a)

コシヒカリ N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O = 0.6：0.6：0.6(kg/a)

5. 追肥時期および追肥施用量

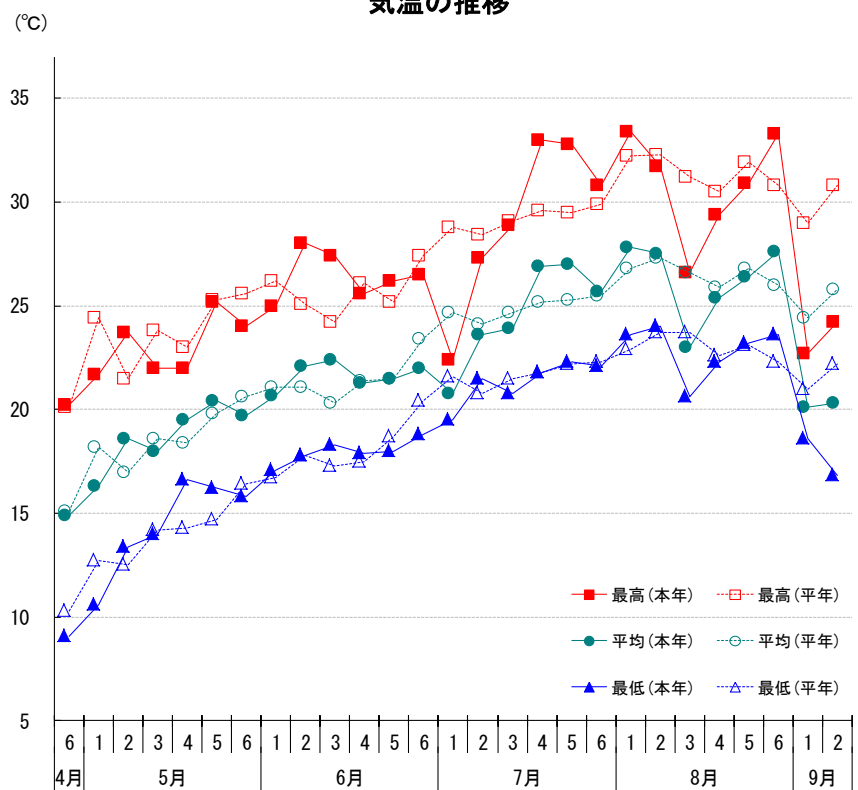
（4月27日移植） あきたこまち 6月25日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3 (kg/a)

ふくまるSL 6月25日 N：K<sub>2</sub>O = 0.4：0.4 (kg/a)

コシヒカリ 7月7日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3 (kg/a)

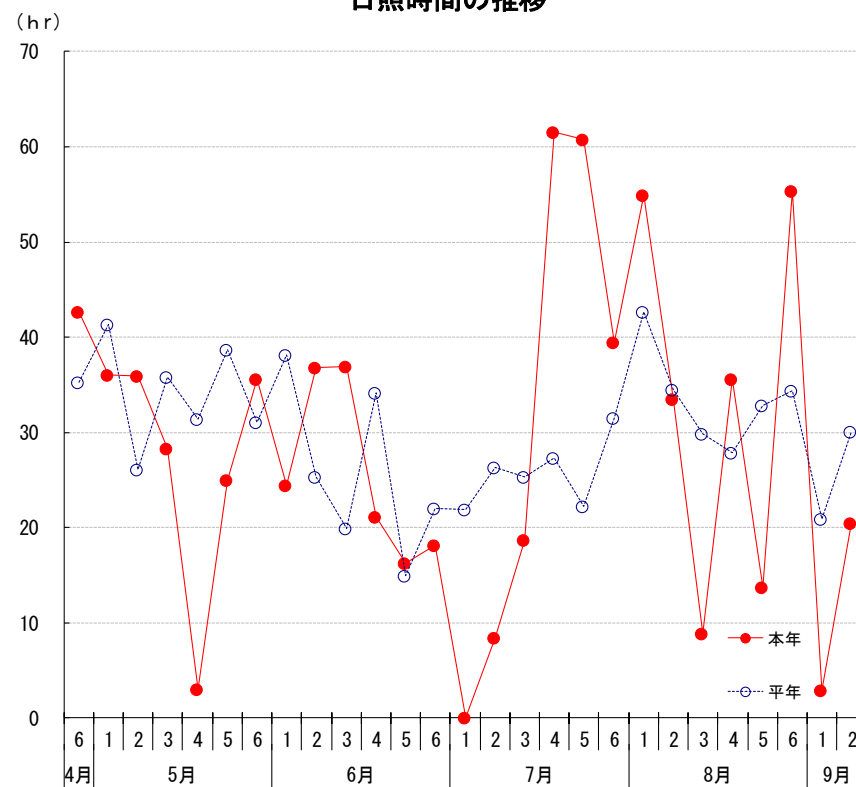
（5月7日移植） コシヒカリ 7月16日 N：K<sub>2</sub>O = 0.3：0.3 (kg/a)

### 気温の推移



注) 平年値:平成28年～令和2年の5年間の平均値  
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

### 日照時間の推移



注) 平年値:平成28年～令和2年の5年間の平均値  
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成